

科目分類	専門基礎分野	学 年	2 年	担当教員の氏名・職名
授 業 科 目 名	リハビリテーション論	学 期	前 期	井上 貴雄 (医師) 三宅 綾子 (理学療法士) 青木 耕 (言語聴覚士) 柿本 将平 (作業療法士)
		単 位 数	1	
		時 間 数	30	
		目的 (ねらい)	リハビリテーションは、障害を有する対象者の心身機能の回復を目指す技術的プログラムにとどまらず、生命の質的向上や自立支援、および社会参加を目指すものであることを学ぶ。	
目 標	<ol style="list-style-type: none"> 1. リハビリテーションの概念や目的を理解する。 2. リハビリテーション看護の役割や責任を理解する。 3. リハビリテーションにおけるチームアプローチの重要性を理解する。 4. 障害者を支える社会保障制度を理解し、障害者、リハビリテーション、社会資源の相互関係を理解する。 			
授 業 計 画	担当教員：井上 貴雄			
	回数	単元項目	内容	授業形態
	1	リハビリテーションとは	理学療法・作業療法・言語聴覚療法について	講義
	2	リハビリテーション概論	他職種連携 疾病との関わりについて	講義
	3	リハビリテーションの定義 と理念		講義
	4	障害について ICIDH と ICF		講義
	5	リハビリ看護の定義		講義
	6	リハビリテーション看護の 支援方法		講義
	7	関節可動域と筋力テストに ついて		講義
	担当教員：三宅 綾子・青木 耕・柿本 将平			
	回数	単元項目	内容	授業形態
	1	運動器系の障害とリハビリ	理学療法士について	講義
	2	テーション看護	骨折について	
	3	関節可動域訓練での自動・ 他動運動の援助	運動療法について 関節モビライゼーション・筋力トレーニング	演習
	4	中枢神経系の障害とリハビ	関節可動域訓練（上肢）	
5	リテーション看護	関節可動域訓練（下肢）		
6	中枢神経系の障害とリハビ	言語障害		
7	リテーション看護	嚥下障害		
8		高次機能障害 脳血管障害のリハビリテーション パーキンソン病のリハビリテーション	講義	
教科書	系統看護学講座専門 [別巻] リハビリテーション看護 (医学書院)			
参考文献	授業において、その都度紹介する。			
評価方法	定期試験 100%。 1. 井上教員 (100点×0.5) 2. 三宅教員・青木教員・柿本教員 (100点×0.5) 合計 100点満点での結果を最終評価とする。			
関連科目	解剖生理学Ⅰ・Ⅱ、薬理学、栄養学、生化学、病態生理学、臨床病態論、微生物学、看護学			
自己学習に関する指針				
その他の 通知事項	随時質問に応じる。			